

### 概要

アカデミアにおいて臨床研究を行う際の生物統計家の責務と貢献について、具体的な臨床研究の事例に即してあなたの考えを述べよ。

- (1) 明朝体で、英数字は半角.
- (2) 分量は2ページ程度.

医師と違って、診療は行わない。そこの実務能力の代わりに、社会に必要とされているものは、臨床試験のより効率的な計画法と解析法の開発はもちろんであるが、統計学を用いた説明可能性と、規制当局への明確な基準も同時に提供することであろう。臨床試験や動物実験とは極めて社会性が強く、同時に法的存在でもあるため、他の背景を持った人とのコミュニケーションも、倫理問題を議論する言論空間で大事な役割を果たすべき「実務家」として大事な役割になる。倫理原則を策定すべき国と、実務家の間を、統計学という「科学の文法」を用いて繋ぐ、産官学の連携が必要である。（インフォームドコンセントを例に出すのはどうだろうか？）もう我々が前に進むためには血を流す必要はないはずなのだ。

## 1 現場にあった統計手法の開発

### 参考文献

- [1] 丹後俊郎 (1981). 医学で要求される統計計算. 応用統計学, 9, 141-158.